

ファイナンシャルコンサルタント

比嘉啓子さん が説く 米国の介護保険

世界的に高齢化が進んでいるにもかかわらず、米国では高齢者介護に対する公的な介護保障制度がない。え、介護保険を扱う保険会社も近年減りつつあります。その理由として、非常に長期契約となること、そしてクレームが入った際に多額の費用が長期間発生するリスクがあることが考えられます。

◆ ◆ ◆
現在、米国では民間の医療保険に介護保険は含まれておらず、自己負担となります。もちろん医療費、入院費などはカバーされますが、介護（食事、風呂、着

替え、移動、清拭、トイレ（排泄）のうち二つ以上の行為が自身でできなくなつた場合）に関する費用はカバーされません。実情はというと、介護を受けざるを得なくなった人のほとんどが低所得者を対象とした医療扶助制度（メディケイド）に加入しており、それらは政府が負担しています。もし米国で介護を受けるとなると、英語で対応しなければならず、乱暴に扱われないかと不安に思ったり、ましてや日本食が食べたいなんて贅沢は言ってもらえません。しかし介護保険に加入していれば日本人の

ヘルパーを雇うことも可能で（ニューヨーク州ではよく見かけます）、自宅で日本食を作ってもらうこともできます。

また、介護保険加入の特典として、支払った介護保険料は税金控除の対象となります。税金を払い過ぎていると思っている人には朗



早めの加入がお勧め

報ですね。さて、その介護保険は健康保険のセールズライセンスを持った人に依頼して加入するわけですが、まずは自分に適した内容を検討しておく必要があります。「何年間介護保険を受けるか」（平均約2・5年と言われている）、「私の祖母は10年以上も介護施設にお世話になりました」、「一日いくらまで給付されるか」（ニューヨーク市では一日約250ドル以上）、「申請してから保険が下りるま

介護保険に関する無料ファイナンシャルセミナー

【日時】9月28日（金）午前10時～
【場所】マンハッタン
【内容】米国での介護保険にまつわるさまざまな疑問や基本情報について解説。

での期間」（通常90日）などにより、月々の支払い額が決まります。もちろん個人の健康状態によっても異なります。ガン、糖尿病、心臓病などにかかると介護保険に加入することができません！ですから、健康なうちに、そして加入時の年齢が上がるほど保険料も上がりますので、早めに入っておくことをお勧めします。

• Information •

比嘉 啓子
(ひが けいこ)
Tel: 212-300-2130
914-449-9493
E-mail: keiko.higa@
hkateadvisors.com
501 Fifth Ave, 3rd
Fl, NYC
(bet 41 & 42 St)